

ODA しやりん

第 164 号

2023 発行
7月 発行

◎**会員投稿**

上里一之さん「還暦の歳のチャレンジ」

2p

沖脊協定期総会の報告

3p

2022(令和4)福祉サービスの活動報告

4p

全脊連 第22回定時総会福岡県大会報告

5p

バリアフリースポット／脊損NEWS

6p

自立生活の先駆者が逝く／バリアフリースポット

7p

Q&Aコーナー／お知らせ／寄稿のお願い／編集後記

8p

NPO法人 沖縄県脊髄損傷者協会 TEL.098-961-6715/FAX.098-961-6716
 〒901-2121 沖縄県浦添市内間5丁目4番3号 ハウジングシーサー101号
 E-mail office@okisekikyo.com
 ホームページ <http://okisekikyo.com/>
 facebook <https://fb.com/okisekikyo> Skype ID:okisekikyo

表紙写真：上里一之さん

会員投稿

うえざとかずゆき

上里一之さん ~還暦の歳のチャレンジ~

冲脊協会員の皆さん、こんにちは。名前は上里一之と申します。年齢は今年、還暦を迎えます。現在は、西原町の自宅で重度訪問介護サービスや訪問看護・リハビリを受けながら生活しています。

私が頸髄損傷(C4)になったのは、今から38年前、体育大学2年次のレスリング部のクラブ活動の練習中の事故によるものです。大きな大会を控え、試合に向けて激しい練習を続けている最中に、少し気を許した瞬間に首を痛めてしまいました。ほんの数秒前には、激しい運動をいていた身体が、一瞬のうちに動きを止めて、レスリングマットの上に仰向けに倒れた状態になりました。首に何か大きな衝撃を受けると同時に仰向けに倒れている姿から立ち上がろうとしても、全身に力が入らず「自分に今、何が起こったのだろう?」と、もがくとしても体はピクリともせず、一瞬のうちに別の空間に連れてこられたような感覚でした。

すぐに救急車が呼ばれ、自分を囲むように心配そうに見つめている他の部活動の仲間たちを後に、大学のかかりつけの病院に搬送されたものの、手に負えない重症らしく、遠く離れた国立大学の医学部附属病院へ運ばれました。搬送されている3~4時間もの間、救急車の中で、「このまま命を落としてしまうのか、いや、絶対に死にたくない」と恐怖心と闘った夜のことを、今でも忘れることはありません。

救急処置を終えて、病棟の病室に運ばれた時には、ベット上で仰向けになり、頭のところに金具をつけて、重たいおもりで首を牽引された状態でした。手術をし、切れてしまった脊髄神



琉大病院整形外科病棟

経もつなぎ合わせて、元の体に戻るはずだと願っていたのですが、当時の医学に力ではどうしようもないことが分り、ただただ悲しくて毎日涙を流す日々を過ごしました。緊急入院して、2年近く経つ頃に、気分転換のために、車いすに座り、病棟の廊下を散歩しながら他の病室の様子を見てみると、自分よりももっと重症な患者がいたり、昨日まで廊下を元気で走り回っていた小さな子供たちの姿が、いつの間にかいなくなり、天国へ旅立つ場面を何度も見ていました。「自分は手足は動かないものの、すぐに命を落とす様子でもない。小さな体で病氣と闘い、天国へと旅立って逝った多くの子供たちと比べたら、まだましなほうかもしれない」と思えるようになり、今、出来るリハビリを頑張って自宅に戻れることを目標に、約

6年半余りの入院生活にピリオドを打ち、現在の在宅での生活が送れるまでになりました。

振り返れば、家族をはじめ、多くの友人・知人、医療関係者の支えで退院できたのですが、同じ脊髄損傷の先輩方が、自分の病室に来てくれて、辛かった頃の気持ちを理解してくれたり、自宅で生活していくための、様々な情報を提供していた



桜島を背景に大学時代の仲間と

いただいたピアサポート活動がありました。退院後、自分が体験したことを同じ脊髄を損傷した仲間や家族のために冲脊連に入会して、ピアサポート活動を実践していくうちに、相談員の仕事に就き、社会福祉士や介護支援専門員、障害福祉サービスの相談支援専門員へと続く大きな原動力となっているのも、冲脊連でのピアサポート活動がはじまりの一歩であったと信じています。

本年度の冲脊協の定期総会を経て、NPO法人の理事長として就任します。約15年前に、冲脊連の会長・県支部長を10年間、担いました。久しぶりの脊損会の運営に携わることになるのですが、当時は任意団体であり、現在はNPO法人格を有した社会的にも認められた団体に代わりました。仲根前理事長、藤江さん、砂川昭人、理事の方や横田清さん、多くの会員の皆さんの尽力があって今日の冲脊協へと発展してきたことは、言うまでもありません。

新しい役員体制で本年度から、冲脊協に携わっていくのですが、副理事長を宮城幸春さんをお願いしており、重度の頸髄損傷者二人が理事長・副理事長として運営するため、他の理事の皆さん、会員の皆さん、就労事業所の職員の皆さん、サービス利用者の皆さんの協力が必要です。若いころよりも体力も衰え、お尻の床ずれの状況も不安はあるのですが、還暦の歳にNPO法人の理事長就任を大きなチャレンジと捉え、多くの皆さんの力を得ながら、任期の2年間を頑張っていこうと思います。どうぞ宜しくお願い致します。



友人たちと

からだの痛み・悩みを
自宅で解消!



代表 林 秀一
TEL: 098-867-0006
FAX: 098-867-0008
〒900-0004
那覇市銘苅2-11-19
グローヴィーサイト新都心2F

琉球治療院

リハビリ・はり・きゅう・マッサージ

年中無休 9:00~18:00

沖縄県内全域で出張施術します。

0120-680-006

フリーダイヤル

mail info@ryukyu-chiryoin.com http://www.ryukyu-chiryoin.com/



定期総会の報告

6/25 (日) 14:00～会場をサンアビリティーズうらそえ研修室で開催。会場参加者14名で委任状60名で、議案は滞りなく審議・承認となりました。

役員改選があり、10年牽引してきた仲根理事長が退任し(理事は留任)。新たに上里一之さんが新理事長
副理事長には宮城幸春さん

なんとC4のお二人が就任となりました。若い世代へのバトンタッチが大きな課題となり、新会員加入を強化することが必要です。

皆で共に、検討・議論して合意形成を重視する方向で運営する予定です。

皆様今後ともよろしくお祈りします。



役員紹介



理事長(新任)
上里一之
再びの理事長就任です。これから2年間、宜しくお祈り致します。



副理事長
宮城幸春
OIT部会を担当します。皆様、よろしくお祈りいたします。



理事(新任)
神里和彦
この度、新任で就労支援部会を担当します。よろしくお祈りします。



理事
山川朝教
OIT部会で皆様のお役に立てればと思います。宜しくお祈りします。



理事
山入端依子
ピアサポート部会を担当します。よろしくお祈り致します。



理事
大城昌彦
今期も皆さまと共に楽しみながら活動していきたいと思っております。



理事
砂川昭人
ITサポートおきなわの所長でもあります。IT部会を担当します。



理事
小嶋晴樹
頸髄損傷者(C4)の小嶋と申します。よろしくお祈りいたします。



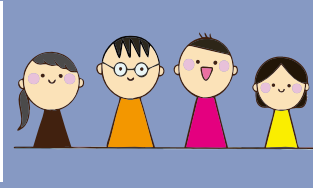
理事
具志壮士
事務局とピアサポート部会を担当しています。



理事
仲根 建作
理事長を退き1理事として、バリアフリー部会、広報誌を担当します。



監事
横田 清
引き続き監事を担います。世代交代が待たれます。



R.C.Y.

Rehabilitation Clinic Yamaguchi

リハビリテーションクリニック
やまぐち

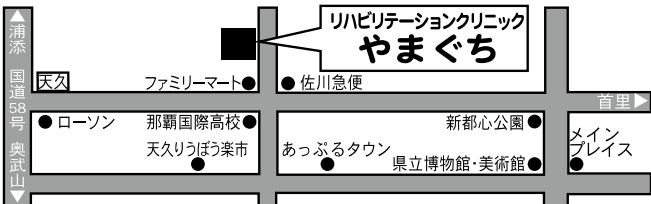
〒900-0003 那覇市安謝1-10-28
TEL098-864-1100

診療スタッフ

院長 山口 健 リハビリテーション科専門医
副院長 山口 浩 整形外科専門医
リハビリテーション 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師

診療科目/リハビリテーション科・整形外科	▶身体機能訓練
	▶身体能力訓練
	▶言語訓練
	▶摂食嚥下訓練
	▶認知訓練
診療時間	月 火 水 木 金 土
午前 9:00~11:30	○ ○ ○ ○ ○ ○
午後 2:00~ 6:00	○ ○ / ○ ○ ○

あらゆる癒し・元気を提供します。



2022(令和4)度障害福祉サービス(就労支援事業)の活動報告

障がい者の就労支援事業として、障害者就労継続支援A型事業及びB型事業を運営。コロナ禍ではあったが、在宅利用を積極的に推進し、給付費収入及び生産活動(売上)には影響なく運営することができた。

【A型】

- ・ホームページ制作案件が本格的にスタート。Webアクセシビリティ検査やDTP・データ入力など、複数の仕事をかけ持つことも多くなった。
- ・3月末に聴覚障がい者の一般就労が決まった。報酬単価の「スコア評価方式」が170点と県内最高点となった。
- ・主な業務はWebアクセシビリティ検査で個人のスキルの高さが影響する。
- ・3月末時点の利用者数：7名(定員10名)、平均利用時間：6.0時間(最大7時間)

【B型】

- ・利用者が1日平均18名となり、給付金が増額している。
- ・主な仕事はデータ入力であるが、営業力が足りず生産活動は工賃を上回らない。
- ・3月末時点の利用者数：24名(定員20名)、平均利用時間：4.5時間(最大5時間)

売上(A・B型合算)

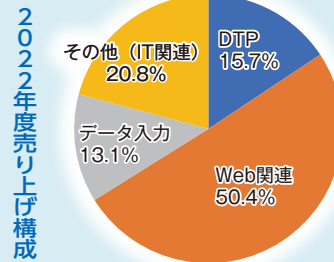
内容	売上	比率
DTP	2,272,560	15.7%
Web関連	7,311,842	50.4%
データ入力	1,893,028	13.1%
その他(IT関連)	3,019,949	20.8%
合計	14,497,379	100.0%

一般就労につながった実績

	A型	B型
人数	1名	1名

生産活動収入と給与・仕入れの収支状況

内容	金額
生産活動収入	14,497,379
人件費支出(A型)	-7,996,744
人件費支出(B型)	-4,693,175
仕入原価支出	-998,850
収支計	808,610



障がい者ITサポートおきなわ職員紹介



砂川昭人
管理者・職業アドバイザー
まさかの管理者になってしまいました。いろんな方の力を借りて運営を続けられるよう目指します。



金城千恵
サービス管理責任者
7年ぶりに福祉の現場に戻ってきて久しぶりです。感覚を早く取り戻せるように努めていきます。



川田潤
職業アドバイザー
ITサポート事業(OIT)との業務になりますが、みなさんの力になれるよう努めてまいります。よろしくお願いたします。



具志堅美涼
生活支援員
"Keep Smiling"をモットーに明るく楽しい場所づくりと1人1人に親身になって寄り添える支援員を目指します。



新垣展也
生活支援員
まだまだ勉強不足&周りに助けて貰う事ばかりですが少しでも良い支援ができるよう頑張ります!



新垣里枝
生活支援員
至らない点が多々あるかと思いますが、仕事に真摯に取り組み成長に努めます。宜しくお願い致します。



宅間洋之
職業アドバイザー
入社したばかりで只今勉強中です。一日も早く皆さんのお力になれるように頑張ります。



ちはる歯科クリニック

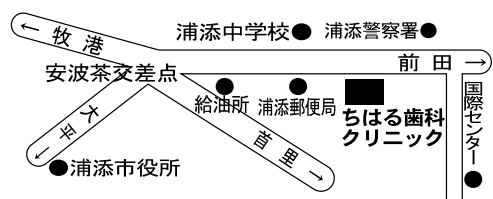
CHIHARU DENTAL CLINIC

浦添市仲間3-3-9

☎(098) 877-6480

FAX (098) 877-9251

E-mail chiharu@ryukyu.ne.jp



訪問歯科診療と口腔ケアを行なっています!

対象者：在宅療養をしている個人で、通院が不可能な方。
病院、保険施設等に入所(院)されている方、障害者施設に入所の方。

活動アラカルト

全国脊髄損傷者連合会 第22回定時総会福岡県大会報告

6月9日から2日間の日程で、福岡県アクロス福岡にて、会場とウェブ会議システムを利用し公開講演Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ及び全国脊髄損傷者連合会 第22回定時総会福岡県大会が行われました。沖縄県からは、上里一之、片倉政人が参加し、全国脊髄損傷者連合会役員として仲根建作が参加。



今回開催された公開講演Ⅰでは、地方

組織どうしの意見交換会、公開講演Ⅱ 権利条約の対日審査と総括所見について、中でも公開講演Ⅲでは、脊髄損傷者の排泄についての講演では、脊髄損傷者の排泄習慣とその社会的影響に関する調査研究の中間報告(京都大学)に引き続きストーマ(人工肛門)造設事例など当事者からの説明に加え、ストーマ(人工肛門)造設前の対応として経肛門的洗腸療法について初期保存的療法(食事療法、薬物療法、摘便、坐剤、浣腸など)の次に対応する療法の説明を受け、年々生活環境の変化や老いに合わせ排泄管理は、生活をする上でも大変重要で個人的にも大変興味のあるお話をお聞きしました。

老いが進む中、生活の質をどの様に担保するかが今後の課題だと感じました。続いて公開講演Ⅳ 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課長で令和4年度障害者総合支援法等の一部を改正する法律について説明を受けましたが、早いペースでの説明の為、聞き逃し分が有りましたが、今年度改定に年とこのことなので、当事者・団体としてどの様にしていってら良いのか? また、当事者・団体から声を上げないといけないと感じました。沖脊協でも勉強会など開催し、みんなで考えて行きたいと感じました。公開講演後に第22回定時総会が開催され8議案について報告及び審議が無事

承認されました。第5号議案では、役員改選14名の定員に対し16名の立候補者で、2名落選の中、沖縄から立候補していました仲根建作氏が無事当選しホッとしました。

翌日全日程を終え帰路に付きました。



番外編：博多のバリアフリー

日本の都市空港では最も交通アクセスが良いと思います。地下鉄は段差約3cmで車両によってはフラットになる場合もあります。驚いたのは車いす対応のトイレが電車内にありました。



天神等の繁華街はほぼバリアフリー。天神・中州の歩道で車椅子アプローチ整備(♿マーク)箇所も多かったです。



交通事故の法律相談

人身事故被害に関する法律相談は、**おもろまち法律事務所へ**

那覇市おもろまち4-17-25 新都心ヒルズ804号室
弁護士 坂井大高(沖縄弁護士会所属)

【完全予約制】 ☎(098) 963-6268

※ご予約の際「しゃりん」を見たとお伝えください。

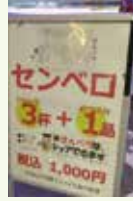


◆人身事故被害の【無料】法律相談を実施しています。移動が困難な方には、出張相談や電話相談のご利用が可能な場合もありますので、お問い合わせください。
相談例：後遺障害等級、賠償金額の増額交渉、休業損害、慰謝料、労働能力喪失率、治療の打ち切り、自宅改造費用など



ディープな那覇まちぐあーせんべろ街

「せんべろ」とは「1000円でべろべろ」の意味。おおむね「席料・お通しを含まない、お酒2〜3杯プラスおつまみ1〜2品」の会計が1000円以下のお店ということになるようです。

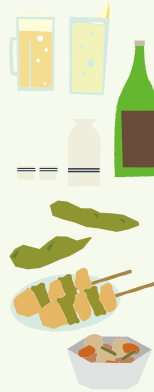


沖縄では各地で「せんべろ」が流行中。店舗が屋台も多いことから車椅子OKのお店が多いです。今回は流行の発信地でもある那覇のまちぐあーで今年3月にリニューアルオープンした牧志公設市場周辺のせんべろ街を紹介です。

約30店舗で、ほとんどが車椅子OK店舗が多く、沖縄料理、お寿司、ラーメン、居酒屋等々で、千円で各店舗を回ることをお勧めします。ただし、外ということもありクーラーなしで夏場は暑く頸損は辛いかもしれません。

せんべろ街の問題点は「トイレ」でしたが、車椅子に限らず共有トイレがなかったことで立ちション等で匂い被害が大問題でしたが、牧志公設市場共用トイレを夜間

も利用できるようになったのです。バリアフリータイムもあり今紹介することができました。



脊損関連 NEWS

会員の赤嶺政則さんによる具志川商業高校での人権講話の新聞記事

(2023年7月10日琉球新報記事から)

【うるま】沖縄県立具志川商業高校は6月30日、人権講話を開催した。原因不明の脊椎の病



から寝たきり生活になったものの、2年にわたるリハビリを続けて復職を果たし、今ではトライアスロンにも出場する豊見城市の元消防士・赤嶺政則さん(60)が講演した。赤嶺さんは誰もが不可能だと考えていた復職を「可能性はゼロではないと信じ、リハビリを続けた」と説明した。その後、障がいを抱えながらも訓練を続け、トライア

スロン出場が「夢ではなく目標になった」と話し、努力の積み重ねの大切さを伝えた。

生活の安定に伴い、障がい者水泳大会や車いすマラソン大会などに挑み、2016年にはパラトライアスロンに初めて1人で参加した。17年には石垣島トライアスロン大会で一般参加者と共に出場し、完走を果たした。

今年3月に豊見城市消防本部を定年退職した赤嶺さん。「今度は海外のトライアスロンに出場したい」と新たな目標を掲げ、訓練に励んでいると説明した。



TRIATHLON



民間車検場(沖指第590号)/(株)ミクニライフ&オート総合代理店

ニッシン自動車工業沖縄

身体障がい者用自動車運転装置・福祉車両製作・販売・レンタカー・車検・一般修理・板金塗装

TEL: (098) 958-6556
FAX: (098) 958-6522

〒904-0302 沖縄県中頭郡読谷村喜名219
E-mail: info@nissin-okinawa.info

代表 山城 貞二

自立生活の先駆者が逝く



写真右が仲地実さん 写真左は初代会長の横田さん

私の携帯が鳴った。このところお会いする機会が減っていた脊損仲間の玉城松男さんから、脊損協会（脊損連合会）元会長の仲地実さんの訃報であった。

思い起こせば、仲地実さんは障害者施策の乏しい（約40年前）中、今もって私達が追及してやまない自立生活と就労を実現した偉大な功績を残してくれた。彼は「太陽の町」という障害者施設に入所していたが、その施設で知り合った奥様と結婚すると共に、施設を退所し自立生活を目指していった。当時の状況からすると想像すら困難な脱施設と結婚そして就労を成し遂げたのである。私横田との出会いは、浦添で開催されていた障害者の作品展会場だった。それ以後、仲地さんとの親交が続いた。彼と奥さんには3名の子宝に恵まれ、自宅兼作業場で絵描きの仕事と木工製品「子

供向けのジグソーパズル等の玩具」の製作販売を糧に見事自立生活を実践していた。整備されてなかった障害者施策の充実を社会に訴えるため、玉城松男さんを中心に障害者ドライバー同志が「ドライバー友の会」という当事者団体が結成され、社会啓発活動を広げた。もちろん仲地さんも四肢麻痺の車いすで運転免許を取得して参加した。盟友でもある玉城松男さんが言うに「仲地さんは不可能と言われてことを次々に実現した素晴らしい人だった」。

脊損協会の創成期には一時期会長を引き受けてくれた。実は車いすユーザーであったが小児麻痺による四肢障害であり、脊損者ではなかったものの脊損協会の会長を担ってくれた感謝したい。自身の日々の生活さえ維持するのにも精いっぱいであっただろうに、障害者福祉の充実を当事者目線で訴え続けた彼の功績は今に受け継がれていると確信する。そして忘れてはならないのは、子育てと仲地さんを懸命に支え続けた奥様の存在である。仲地さんの行く所にはいつも奥さんがいた。障害者の自立生活を見事に実現していった仲地さん、そして奥様には尊敬の念を抱くものである。障害者自立のパイオニアでありフロンティア精神で人生を駆け抜けた仲地実さんのご冥福を心よりお祈り申し上げます。



2018年誕生日の時の時

横田 清

活動アラカルト

公園バリアフリー化の要請活動

沖脊協は「沖縄公園等バリアフリー化推進協議会（高嶺豊会長）」に構成団体として参画していますが、同協議会発行の「沖縄ユニバーサルデザイン整備指針（改訂版）」が作成されたことから指針活用を県内市町村にアクションしようということになり、6/6 浦添市、6/8 那覇市の市長に要請に行っていました。

両市町ともに前向きに活用するとお話をいただ

きました。

特に那覇市では早速予算計上の準備をしていただいたようで、ありがたいことです。

誰もが楽しく利用できる公園づくりに沖脊協も積極的に推進・アクションさせていただきます。



Q&A コーナー

Q：労災受給者です。労災制度が難しく困っています。どのように相談したらよいですか？

A：沖縄での窓口は「沖縄労働局労災補償課」になりますが、労災年金を受給することとなった方々が安心していきいきとした生活を営めるようにするため、相談、在宅介護、施設介護等を中心とした総合的な支援を目的とした機関として「一般財団法人 労災サポートセンター」があります。

また、沖縄県を含む九州各県エリアを対象とした「九州労災年金センター」もあります。

しかしながら、受給者の立場になってというよりも補償対応的な受け答えになりがちのようです。

全国脊髄損傷者連合会では「労災ワーキング」があり、会員からの問合せに対応しているので相談されてくだ

さい。

①九州労災年金支援センター：092-472-7161

HP：：<https://www.rousaisc.or.jp/careinfo/kyuusyuu/index.html>

②一般財団法人 労災サポートセンター：03-6834-2510

HP：<https://www.rousaisc.or.jp/index.html>

③沖縄労働局労災補償課：098-868-3559



サンシャイン ゆいま〜る

(株)サンシャイン様の社会貢献「サンシャイン ゆいま〜る」。

第13回クール2023年前期(1月～6月)で73,000円の寄付金がありました。

(株)サンシャイン様は沖脊協の事業活動に対する温かいご理解の上、多額のご寄附を賜り沖脊協の円滑な運営に多大のご貢献を戴きました。ご厚意に対し深く感謝申し上げます。



しゃりん寄稿のお願い

沖脊協では、しゃりんへの寄稿を募集しております。ご自身の褥そう体験や会員の皆さまへのニュースネタ、自己紹介、雑記など幅広く募集いたしております。オンラインフォームも用意しております。オンラインフォームへの入口はホームページにも設けております。

【オンラインフォーム】
<https://x.gd/0WxIR>



編集後記

最近の物価高や電気代高騰から、生活の見直しや断捨離をしています。衣類、食器類に始まり、自家用車も手放しました。また、電気、ガス、水道の使用方法の見直しや生命保険加入の変更などetc・・・。捨てた後に後悔もしますが、生活を見直して見えてきたことやわかったことも多々。特に「コンビニは高い」です。今では、ほとんど買い物しません。スーパーも低価格なお店以外にはいかないを徹底しています。

反面、いままでの無駄遣いに反省。しかし、心豊かな生活のために、時には自分にご褒美も必要で、張りのある人生になるように過ごしたいものです。(建)

いつも会費をお支払いいただき、まことにありがとうございます。
お支払いがまだの方は事務局にて直接、もしくはお振込をお願いします。

正会員
年間 3,600円



楽天銀行 第二営業支店(普通) 7104311
トクレ)オキナクセンセイズンショウシヤキョウカイ

賛助会員(個人)
一口 3,000円



沖縄銀行 石嶺支店 (普通) 1520193
トクレ)オキナクセンセイズンショウシヤキョウカイリジショウイサトカズキ
※理事長変更により名義も変更しています。

賛助会員(団体)
一口 5,000円



琉球銀行 石嶺支店 (普通) 445603
特定非営利活動法人沖縄県脊髄損傷者協会 理事 仲根建作